

大阪インターナショナルチャーチ： ブルース・アレン牧師

マタイの福音書 10 章 29 節-30 節 (NLT)版 注釈除く

2025/01/12

メッセージ: 秘められたこと?

OIC の皆様おはようございます。ようこそ天の父なる神様の家に来られました。

皆様を歓迎いたします。

秘められたこと?

秘密には良いことも悪いこともあります。もちろん、友人のためにプライベートなことは秘密にして守りたいです。しかし、クリスチャンが真実の言葉を語ることも重要です。イエス様は<ヨハネの福音書 14 章 6 節>で語られました。

イエスはトマスに言われました。「いいですか。わたしが道です。そして真理でもあり、いのちでもあります。わたしを通らなければ、だれ一人、父のところへは行けません。

楽しみの秘密

皆さんの牧師である私は、休日に自宅のパソコンでアメリカのプロ野球やプロフットボールを見ることで、脳のレクリエーションをしています。ナショナル・フットボール・リーグの試合はリプレー用に録画されています。だから、家族のために必要な家事の前でも、休日で試合を見る時間をうまく選ぶことができます。試合は通常、何日も前に行われています。日本では、誰が勝ったかわからなくなりがちです。それで最近、娘の Therese はフットボールのホームチームであるニューイングランド・ペイトリオッツのファンで、私と一緒に試合を観戦することになりました。彼女は携帯電話で偶然最終結果を見たと言っていました。私には教えてくれませんでした。Therese は頑張って応援しすぎました。ホームチームのペイトリオッツがひとつでもいいプレーをすると、彼女はとても大きな歓声を上げました。私は彼らが負けることは分かっていました！私たちは笑い、それから1時間、彼らが惨めに負けるのを見届けました。これは楽しみだけのための「秘密」でした。しかし、秘密にしてはいけないことがたくさんあるようです。

この世が秘密にし続けたいこと

イエス様の教え - その秘密

<マタイの福音書 10 章 22 節-25 節>でイエス様が十二弟子に言われたことを読みましょう。

22 わたしの弟子だというので、あなたがたはすべての人に憎まれます。けれども、最後まで耐え忍ぶ者は救われるのです。

23 一つの町で迫害されたら、次の町に逃げなさい。あなたがたがイスラエルの町を全部めぐり終えないうちに、わたしは戻って来るからです。

24 生徒は先生にまさることはなく、使用人は主人より上ではありません。

25 生徒は先生のようになれたら十分だし、使用人は主人のようになれたら十分です。主人のわたしがベルゼブル（サタン）と呼ばれるくらいなのだから、ましてあなたがたは、どんなひどいことを言われるでしょうか。

主イエス様は、クリスチャンがイエス様を代表しているのでしばしば厳しい扱いを受け、迫害を受けることを暗示し、準備しておられます。多くのユダヤ人がイエス様を悪魔の王子と呼んでいたように、クリスチャンはイエス様が人々に扱われた以上のことを期待すべきではありません。イエス様は死や迫害を恐れて、メッセージを必要としている人たちのもとへメッセージを届けることができないことを知っておられました。イエス様の初代の弟子たちへのメッセージは、時代の終わりの時代に生きるクリスチャンにとって、さらに適切なものです。今日、迫害者は身体的な攻撃よりももっと秘密に行動しているかもしれません。しかしイエス様は<マタイの福音書 10 章 26 節>で約束されています。

しかし、脅迫する者たちを恐れてはいけません。やがてほんとうのことが明らかになり、彼らがひそかに巡らした陰謀は、すべての人に知れ渡るからです。

私たちがイエス様の教えを伝えるのを妨げようとする彼らの邪悪な秘密はすべて、審判の時に神様の前で公然と明らかにされるでしょう。

<マタイの福音書 10 章 28 節>

体だけは殺せても、たましいには指一本ふれることもできないような人々を、恐れてはいけません。たましいも体も地獄に落とすことのできる神だけを恐れなさい。

神様の子供たちを愛する神様だけが、地獄で魂と肉体の両方を殺す力を持っておられます。今日、アラブやイスラム諸国を除く世界のほとんどの国々では、キリスト教徒に対する迫害のほとんどは特に暴力的なものではありません。経済的な圧力や、大学や進路における差別であることが多いです。<マタイの福音書 10 章 27 節>のイエス様の教えに従うためには、恐れを克服しなければなりません。

わたしが今、暗闇で語ることを、明るいところで大声でふれ回りなさい。わたしがあなたがたの耳にささやいたことを、屋上から言い広めなさい。

主イエス様は誇張していたのではなく、比喩という言葉の綾を使ってご自分の言いたいことを言われたのです。イエス様は弟子たちに、私的な教えを公にするよう指示されました！「屋上から言い広めなさい」と言われたように。弟子たちは、世の中の秘密主義に対抗するために、この姿勢を必要としていました。—イエス様の教えと福音。しかし、あなたはこう言うかもしれません。「ブルース牧師、私はクリスチャン仲間の何人かのよう
に、才能ある伝道者ではありません！」と。はい、御霊の聖霊なる神様が御心に適うように、伝道者を含む賜物を与えてくださることは承知しています。しかし、自分がクリスチャンであることを秘密にするために多くの努力をすることと、イエス様の教えと福音を屋上から叫ぶこととは大違いです。イエス様は<マタイの福音書 10 章 32 節>でこのことを明確にしています。

もしあなたがたが、だれの前でも、『私はイエスの友だ』と認めるなら、わたしも、天の父の前で、あなたがたをわたしの友だとはっきり認めましょう。

イエス様の真理を認めることは、叫ばずともできるかもしれませんが、神様の救いを切望する大勢の罪人たちに明らかにされる必要があります。

日本の屋根からイエス様を宣言？— その秘密

主イエス様は、日本という大国において、オープンな伝道以外に、イエス様を秘密にすることと、イエス様の教えを伝えることのバランスが難しいことを知っておられます。クリスチャンは日本人を尊重して行動したいのです。宣教師たちはこのことを学び、祈りながら葛藤と闘っています。さて、今日ここにいらっしゃる素晴らしい観光客の方々を除いて、OIC のクリスチャンは、たとえあなたが日本で生まれたとしても、みんな日本のための宣教師です。私は今日のメッセージで愛する OIC の聖徒たちに罪悪感を植え付けるような牧師にならないようにしたいです。そこで、イエス様に祈るための聖書の箇所を次に紹介したいです。キリストの御霊は、罪悪感なしにキリストに従う方法について、あなたの心に答えてくださいます。神様はご自分の子供たちを動機づけるために、決して罪悪感を用いません。

私はこのメッセージの霊的な真理を預言者ハバククから選びました。彼は世の中に蔓延する悪に悩まされていました。彼は答えを探している敬虔な男性でした。

<ハバクク書 1 章 2 節-3 節>

2 主よ、助けを求める私の祈りに、いつになったら耳を傾けてくださるのですか。何の答えもないので、むなしく叫ぶばかりです。「助けてくれ、人殺しだ」と叫んでも、だれも助けに来てくれません。

3 私を取り囲んでいる罪と悲惨を、いつまでも見ていなければならないのですか。どこを見ても圧制とわいろがはびこり、人は議論や争いにふけています。

ハバククは<ハバクク書 2 章 1 節>で神様の答えを待つことにしました。

今、私は見張り台に立ち、神が私の訴えにどう答えるか待っています。

待っている時間は与えられませんでした。神様は<ハバクク書 2 章 2 節>において聖さが勝つようにとの願いに応えられました：

すると主はこう言いました。「板に、わたしの答えを書き記せ。だれでもひと目で読んでほかの者にすぐ伝えることができるように、大きな字で、はっきり書きなさい。

ハバククのように、義のために重荷を負っている敬虔な人たちには、他の人たちと分かち合うための指示が与えられていることに注目していただきたいです。神様は預言者に、バビロンの侵略からの最終的な救済を約束されたが、その一時的な勝利の中で、神様はまた、終末の時の預言をされました<ハバクク書 2 章 14 節>。

海が水で満たされているように、全地が主の栄光を知ることによって満たされる時がくる。

この主イエス様の栄光は、イエス様が力を持って再臨し、ご自分が創造した地球の支配者として全権を掌握するまで、地上に満ち溢れることはありません。

<ヨハネの黙示録 11 章 15 節-16 節>にあるとおりです。

15 「第七の天使がラッパを吹き鳴らすと、天から大きな声が響きました。「世界はすべて、主とキリストの手に渡った。主は永遠に支配者である。」

16 すると、神の前の席にいた二十四人の長老が、地にひれ伏して礼拝し、声をそろえて神を賛美しました。

そして<ヨハネの黙示録 19 章 11 節>

11 それから天が開かれ、私は、そこに白い馬を見ました。その馬に乗っているのは、「忠実、また真実」と呼ばれ、正しいさばきをし、戦いをなさる方です。

私がここで言いたいのは、主イエス様を当然のように愛しているクリスチャンは、主イエス様を認めず、賛美もしない世界のせい、心に痛みを抱えているということです。...

イエス様が受けるにふさわしい栄光。 イエス様は王の王であり、主の主です。主イエス様の傷ついた心に対するこの傷や痛みは、主イエス様の福音と主イエス様の御名を広める慰めまたは動機となります。これが、イエス様が＜マタイの福音書 10 章. 27 節＞で使徒たちに促していた「慰めと動機」でした。

わたしが今、暗闇で語ることを、明るいところで大声でふれ回りなさい。わたしがあなたがたの耳にささやいたことを、屋上から言い広めなさい。

こうして私たちは、失われた魂への愛と、地上のあらゆる場所で王の王、主の君として認められていないイエス様の不名誉を感じながら、福音を分かち合うのです！

イエス様の御名 - その秘密

この世界はイエス様の御名を秘密にしたがります。なぜでしょうか？

＜使徒の働き 4 章 8 節-12 節＞

8 その時、ペテロは聖霊に満たされ、落ち着きはらって答えました。「わが国の名誉ある指導者、ならびに長老の方々。

9 お尋ねの件は、あの足の悪い男のことで、どのようにして彼が治ったかということでしょうか。

10 そのことなら、あなたがた、いやイスラエルのすべての人たちに、はっきりお話ししたいのです。この出来事は、あなたがたが十字架につけ、神様が復活させてくださった、あのメシヤ（救い主）、ナザレのイエスの名と力とによるのです。

11 メシヤのイエスは、まさに『建築士たちの捨てた石が、最も重要な土台石になった』（詩篇 118・22）と聖書にある、その石なのです。

12 この方以外には、だれによっても救われません。天下に、人がその名を呼んで救われる名は、ほかにないのです。”

ペテロはイエス様の御名こそ、人が救われるべき唯一の御名であると宣言しました。ペテロはまた、エルサレムのすべての支配者や長老たちに、生まれつき足の不自由な人が、ナザレ人イエス・キリストの力強い御名によって癒されたことを告げました。イエス様の御名にはそのような人を癒す力があります。

イエス様がされたこと - その秘密

イエス様と親密に歩むことは、永遠のいのちを持っていることを知ることである」と題した前回のメッセージの中で、使徒ヨハネは次のように書いています。

＜ヨハネの手紙1 5章18節-19節＞

18神の家族の一員とされている人は、罪を犯す習慣はありません。神の御子にしっかりと支えられているので、悪魔は手出しできないのです。

19 私たちは神の子どもですが、回りの世界は悪魔の支配下にあることを知っています。ヨハネは、聴衆、すなわち主にある親愛なる子供たちの確信を高めていたことに注目してください。しかし、ヨハネはすべてのクリスチャンには霊的な敵がいるという真実を隠しませんでした。確信は敵がいなくても必要としません。確信には、敵よりもはるかに偉大な神様の御子イエス・キリストという友と味方が必要です。しかし、イエス様はもちろん弟子たちよりも先にこのことを知っていました。

だから＜マタイの福音書10章27節＞

わたしが今、暗闇で語ることを、明るいところで大声でふれ回りなさい。わたしがあなたがたの耳にささやいたことを、屋上から言い広めなさい。

イエス様は、終末までの残りの教会時代の妨害について預言または前もって話ししておられます。邪悪なものの支配は、イエス様を明らかにするものなんでも秘密にしてしまう結果となります。しかし特に、イエス様が私たち無力な罪人のために十字架上でしてくださったことを隠すためです。聖書は次のように力強く宣言しています。

＜ローマ人への手紙5章6節＞

私たちが逃れる道もなく、行き詰まっていた時、キリストはおいでになり、何のとりえもない、私たち罪人のために死んでくださいました。

そして、

＜テトスへの手紙2章11節＞は言っています。

というのも、永遠の救いという神からの一方的な恵みは、だれにでも提供されているからです。

神様の無償の愛、すなわち恵みは、御子イエス様において明らかにされました。

私たちクリスチャンを取り巻く世界は、イエス様が成し遂げられた御業はユダヤ人のためだけだったとか、異邦人のためだけだったとか、アメリカ人のためだけだったとか、誰のためだったとかいう嘘を人々に信じさせようとしています。神様の御子はユダヤ人として地上に来られました。彼は西洋人ではなく東洋人でした。主イエス様が人類に啓示されたとき、「西洋文明」は存在しませんでした。使徒たちと弟子たちは、天に昇ろうとされ

ていたイエス様の命令に従い、地の果てにまでイエス様の福音を伝えました。この命令は
＜**マタイの福音書 28 章 19 節**＞でイエス様が言われました。

だから、出て行って、すべての人々をわたしの弟子とし、彼らに、父と子と聖霊との名によってバプテスマ（洗礼）を授けなさい。

ギリシャ語のエスノス（ethnos）は民族を意味し、国家を意味しません。イエス様の大宣教命令＜**マタイの福音書 28 章 19 節**＞のために与えられたタイトルは、最大の国の最小の民族や文化グループであっても、福音を聞いたことを確認することです。

無礼な目覚め - すべての秘密が明らかにされた

＜**マタイの福音書 24 章 29 節-30 節**＞

29 これらの迫害が続いたすぐあとで、太陽は暗くなり、月は光を失い、星は天から落ち、天体に異変が起こります。

30 その時、わたしが来るという前兆が天に現れるのです。地上のあらゆる国の人々は深い悲しみに包まれ、わたしが力と輝く栄光を帯びて、雲に乗って来るのを見ます。

このメッセージで、私は教会がいつ携挙され、生者も死者も天に召されるかについての多くの諸説は避けています。これは新約聖書全体を通して見られることです。また、ヨハネの黙示録は多くの章の順序が時系列になっていません。ここでの要点は、イエス様についての秘密を知ることも信じることもなかった地上の人々にとって、どのような体験となるかということです。これは、人の子が来るという印が天に現れるという、無礼な、あるいは突然の目覚めです。

すでに今日、教会はイエス・キリストと十字架につけられたイエス・キリストを約 2,000 年前から宣べ伝えています。しかしそれから＜**マタイの福音書 24 章 29 節**＞「その苦難の日の直後、太陽は暗くなり、月は光を与えず、星は空から落ち、天の力は揺り動かされる。」のです。神様の激しい怒りの「大患難」、大患難の日々の苦悩は終わります。しかし、その時、天は主イエス様の裁きの栄光を宣言するのであって、私たちが天地創造の中で日々目にしているような主イエス様の憐れみの栄光を宣言するものではありません。暗くなった太陽、光のない月、空から落ちる星が示す審判です。

＜**創世記 1 章 14 節**＞において、主イエス様ご自身が仰せられたからです。

神のことばはさらに続きます。「空に光が輝き、地を照らせ。その光で、昼と夜の区別、季節の変化、一日や一年の区切りをつけよ。」すると、そのとおりにになりました
そう、私たちが夜に見る輝く星は、[神様の将来に備えた配慮の]しるしなのです。

<マタイの福音書 24 章 29 節>において、神様は天の力を揺り動かし、星を降らせませす。その時、神様はご自身の将来に備えた配慮が終わり、地上の人々のために審判の時がなされることを宣言されます！

この時、主イエス様の選ばれたすべてのクリスチャンは、天国でイエス様と一緒にいるため携挙されます。次の節<マタイの福音書 24 章 31 節>では
ラッパが高らかに鳴り響く中で、わたしは天使たちを遣わします。天使たちは、天と地の果てから果てまで行き巡り、選ばれた者たちを集めるのです。

空から星が降ってくるという意味も注目されます。使徒ヨハネは西暦 90 年から 100 年頃に神様から黙示録を受け取りました。使徒ヨハネは私たちのような天文学の知識はほとんどなかったのです。神様の全能の力は、天地創造で語られたように、神様が被造物を奇跡のために、とりわけしるしと不思議のために用いるときにも弱まることはありません。だから、聖アウグスティヌスが「すべての真理は神の真理である。」と言ったように、(神様を認めない)自然科学を許しなさい。

では、星が降るとはどうでしょうか？ 私たちは、星が地球から何光年も離れていることを知っています。光年とは、光が 1 年間に進む距離のことで、9.5 兆キロメートルです。神様は何でもできます。しかしながら、アメリカ航空宇宙局 (NASA) の元コンサルタントとして、神様が創造された天国に関する私の知識は、太陽系の小惑星帯を思い出させます。

頭上のスクリーンには、NASA が描いた小惑星帯の図面が映し出されています。地球の大気圏に突入するものが頻繁にあることがお分かりになるでしょう。これらの何百万もの岩石は地球の近くにあり、光年も離れていません。NASA は、長さ 300~400km の大きなものをセレスとベルデスと名づけました。それらの岩石が地球の大気にぶつかると、流れ星と呼ばれるものになり私たちは見えます。ほとんどの流れ星は地面に落ちる前に燃え尽きます。これは、ヨハネが<マタイの福音書 24 章 29 節>で見たものでしょう。これらの迫害が続いたすぐあとで、太陽は暗くなり、月は光を失い、星は天から落ち、天体に異変が起こります。 いわば神様が天体を揺さぶり、多くの小惑星を揺り動かし、流星や流れ星となって地球に落下させるのです。今、悪魔の種子、つまり科学界の嘘つきたちは、小惑星

は地球に衝突しないと主張しています。科学界の主張は明らかな嘘であり、歴史が示すとおり、小惑星は地球に衝突します。

私が思い出す一例は、1955年の「To Tell the Truth (真実を伝えること)」というテレビ番組です。有名セレブたちの解答者達が、それぞれのゲストの「秘密」を当てようとしていました。解答者があるゲストの話の秘密を当てたのをあきらめた後、その女性は「彼女の秘密」を語りました。私は風呂に入り、バスタブでくつろいでいました。ガシヤーンという音がして、何かが上から私の顔のそばを飛んできて、水が全部流れ出しました。下の階を見ることで確認できたのですが、それは宇宙からの流星でした。彼女は賞金を獲得し、生きていることも喜びました。

ヨハネのビジョンは、審判の日は今だと告げる何百万もの星が降り注ぐものだったに違いありません！

<マタイの福音書 24 章 30 節>

その時、わたしが来るといふ前兆が天に現れるのです。地上のあらゆる国の人々は深い悲しみに包まれ、わたしが力と輝く栄光を帯びて、雲に乗って来るのを見ます。

私たちは、これが地球人にとって信じられないほどの衝撃であることを想像することしかできません。人の子が来ることを示す印は、おそらく天空を横切る巨大な十字架でしょう。そして、地上のすべての民の間に深い嘆きが起こるでしょう。そして今、すべての民族、すべての文化に、この世の秘密が明かされます。彼らが嘆き悲しむのは、この日が本当に起こると警告されていたにもかかわらず、その準備をしていなかったからです。そしてその多くは、それを信じていたとしても、自分自身にさえ秘密にしていたのです。彼らが「神様と人に隠していた罪」が暴かれるのです。イエス様が<マタイの福音書 10 章 26 節>で言われたとおりです。

しかし、脅迫する者たちを恐れてはいけません。やがてほんとうのことが明らかになり、彼らがひそかに巡らした陰謀は、すべての人に知れ渡るからです。

これらの人々のパニックは、『*The Second Chapter of Acts: (使徒の働き 2 章)*』という歌の歌詞によく表れています：

< *The Second Chapter of Acts* 歌詞 >

“No one will have a secret

No one will tell a lie

Things that were done in hiding
Are gonna reach to the highest sky
And one thing that I know for certain
The stars will lose their course
The moon will be
Bleeding in sorrow
No one believes they're
Running in circles running in circles
Bleeding in sorrow
No one believes they're
Running in circles running in circles
Running in circles
Losing their minds

<歌詞要約>

誰も秘密を持たない
誰も嘘をつかない
隠れてしていたことが
最高の空に届くだろう
そして、ひとつ確かなことは
星は進路を失い
月は
悲しみに血を流す
誰もそのような星や月を信じない
堂々巡りの堂々巡り
悲しみの中で血を流す
誰もそのような星や月を信じない
堂々巡り 堂々巡り
堂々巡り

神様があなたにできること - それは秘密ではない

<マタイの福音書 2 章 1 節-2 節>にこう書いています。

1 イエスはヘロデ大王の時代に、ユダヤのベツレヘムの町でお生まれになりました。そのころ、天文学者たちが、東の国からはるばるエルサレムへやって来て、こう尋ねました。

2 「このたびお生まれになったユダヤ人の王様は、どこにおられますか。私たちは、その方の星をはるか東の国で見たので、その方を拝むために参ったのです。」

クリスチャンは友人たちに、「賢者たちは今も主を探し求めている」と言いたくなります。本当にその通りです。

クリスチャンは主イエス様の星を見えています。その主イエス様の星がクリスチャンを十字架へと導きました。

<ローマ人への手紙 5 章 6 節>

6 私たちが逃れる道もなく、行き詰まっていた時、キリストはおいでになり、何のとりえもない、私たち罪人のために死んでくださいました。

あなたのために血まみれの十字架にかけられたキリストを心や魂の中で見たことがありますか？もしあなたがあなたのために血まみれの十字架にかけられたキリストを心や魂の中で見たことがあるならば、賢者たちが星に導かれてイエス様を拝みに来たように、あなたも「イエス様を拝みに来る」とよくなるでしょう。今日、私たちの多くがここ OIC に集まっているのは、まさに、イエス様を礼拝するその目的のためなのです。

罪からの解放を求めてイエス様の十字架に引き寄せられる、イエス様の星をまだ見たことがない人は、今日ここ OIC にいる誰でも、今すぐイエス様のもとに来ることができます。イエス様の星は今日、神様の霊によってもたらされたあなたの心の中にある愛と感情です。神様の御霊は、イエス様の真の十字架によって、神様の将来に備えた配慮を与えるためにここにおられます。だから、審判の日に十字架の印に脅かされることはありません。イエス様は両手を広げてあなたを待っておられます。約 2000 年前の十字架の犠牲によって、すべての罪は洗い流されます。今日があなたの救いを受け入れる日です。

すでに十字架上のイエス様に導かれているクリスチャンは、今やイエス様を拝みに行った賢者のようなものです。イエス様があなたのためにご自分の命を犠牲にされるのを心の中

で見た後は、あなたは決して以前と同じようにはなれないからです。＜マタイの福音書 2 章 12 節＞の賢者たちのように、あなたは今、聖霊なる神様に導かれています。

それから、ヘロデ大王に報告をしにエルサレムへは戻らず、そのまま自分たちの国へ帰って行きました。神から夢の中で、ほかの道を通して帰るように警告を受けたからです。

イエス様を受け入れる者にとって、イエス様は彼らの世の光、高みからの真の日の出となります。あらゆる星よりも明るいです。

アメリカのカントリー・ウエスタン歌手がキリストを受け入れた日に書いた小さな曲があります。それは次のようなものです。

＜アメリカのカントリー・ウエスタン歌手がキリストを受け入れた日に書いた小さな曲＞

It is no secret what God can do

What He's done for others

He will do for you

With arms wide open, He will pardon you

＜曲要約＞

神様に何ができるかは秘密ではない。

イエス様が他の人にしてくださったこと

イエス様はあなたのためにしてくださる

両手を大きく広げて、イエス様はあなたを赦される。

神様に何ができるかは秘密ではありません。

祈りましょう